

Create The 未来を創造する Future

Our trusted technology creates a prosperous future



株式会社 松和

〒690-0822 松江市下東川津町150-8

☎ 0852-22-4327

☎ 0852-26-6356 ✉ syouwa-k@web-sanin.co.jp



株式会社 松和

会社概要

会社名	株式会社 松和
所在地	島根県松江市下東川津町150-8 TEL: 0852-22-4327 FAX: 0852-26-6356 E-mail: syouwa-k@web-sanin.co.jp
代表者	代表取締役 安達好夫
役員	取締役会長 佐藤 紘一 取締役工務部長 朝倉 經夫 取締役営業部長 寺本 弘美 取締役工務部長 安達 信二 取締役工務部長 門脇 正樹
創業	昭51年6月14日
資本金	2,000万円
従業員数	14名(男性11名、女性3名)
主要取引先	島根県、松江市等公共機関 (株)ライズアーク 等 一般個人
事業内容	道路、河川などの土木工事の施工 宅地開発工事の設計施工 産業廃棄物の収集運搬
取引銀行	山陰合同銀行 島大前支店 島根銀行 学園通支店 米子信用金庫 松江北支店
加入団体	(一社)島根県松江地区建設業協会 (一社)松江建設業協会
その他	こころカンパニー認定企業 まつえ男女共同参画推進宣言企業 しまね ゆめいくカンパニー認定企業

近年の主な実績

島根県工事

- ・ 境美保関線(男鹿地区)総合交付金(改築)工事
(島根県松江県土整備事務所:優良工事表彰)
- ・ 県営林道開設事業美保関線第七工区道路工事
(島根県松江県土整備事務所:優良工事表彰)

松江市工事

- ・ 市道福浦法田線道路改良その6工事
(松江市長:優良工事表彰)
- ・ 市道才軽尾線道路改良その9工事
(松江市長:優良工事表彰)

沿革

昭和51年6月14日	松和建設有限公司設立(資本金120万円) 松江市大庭町1544-1
昭和51年11月8日	建設業許可 島根県知事(般-51)第2561号 (土木工事業、とび・土工工事業、石工事業)
昭和57年9月10日	資本金増資(資本金510万円)
昭和57年12月7日	建設業許可 島根県知事(般-57)第2561号 (土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、 ほ装工事業、造園工事業)
昭和59年6月1日	社屋移転 松江市下東川津町150-8
平成8年5月7日	資本金増資(資本金1,100万円)
平成10年5月12日	資本金増資(資本金2,000万円)
平成11年8月11日	建設業許可 島根県知事(特-10)第2561号 (土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、 ほ装工事業、造園工事業)
平成15年8月11日	建設業許可 島根県知事(特-15)第2561号
平成17年4月22日	産業廃棄物収集運搬許可 許可番号3200117714
平成20年8月11日	建設業許可 島根県知事(特-20)第2561号
平成25年6月1日	商号変更(組織変更) 株式会社松和
平成25年8月11日	建設業許可 島根県知事(特-25)第2561号
平成28年12月19日	建設業許可 (解体工事)
平成30年8月11日	建設業許可 島根県知事(特-30)第2561号

民間工事等

- ・ アークタウン上乃木八丁目造成工事
- ・ 山代造成工事

その他表彰実績

- ・ 島根県知事特別表彰 地域貢献



主な社会貢献活動

- ・ 「まちづくりに関心を持ってもらう事業」
松江市立第二中学校美術部員との共同企画
- ・ 「川津ファミリーフェスタ支援事業」
松江市立川津小学校 工事現場写生大会
- ・ 「枕木山強歩大会支援事業」
松江市立本庄中学校 記念品の贈呈及び給水支援
- ・ 「子供・女性みまもり運動」
持田公民館へ防犯ブザー300個寄贈
- ・ 「中高生インターシップ受入事業」



建設業の魅力と仕事内容

自分の仕事が新しい未来をつくり出す

私たちが思う建設業の魅力とは、『協力して物事を成し遂げる喜びがある』『段取りを組む力を養える』『社会の役に立っている実感』『大きなスケールで“ものづくり”ができる』これらのことが私たちの考える建設業の魅力だと思います。『協力して物事を成し遂げる喜びがある』とは、現場作業の仕事柄体力仕事というイメージが強い建設業ですが、実際は男性や女性若年層から年配者まで様々な人達が携わっています。現場作業を担当する者は体力と経験で他の者は知識と戦略、あるいは思いやりでお互いの業務を支えています。『段取りを組む力を養える』とは、基本的に建設作業は適正に決められた段取りに沿って進められます。携わっている人達のすべてには基本的には段取りを意識することになります。そのため、仕事を進めていく上で守るべきルールや作業効率化等の考え方が自然と身につきます。場合によってはコスト管理の考え方も求められるでしょう。『社会の役に立っている実感』とは、建設業者が手掛けていく“街づくり”は、結果的に多くの人々の暮らしを支えることにつながります。『大きなスケールで“ものづくり”ができる』とは、道路や橋など地図に記載させるものもあり、世代を超えて利用させることもあるかもしれません。将来、自分の子供や孫の世代まで残るような成果物を造る感動は建設業ならではのものです。



平成19年 ため池等整備事業のための池整備工事



平成30年 市道役場深原線菓子橋改修(上部)工事

求められる人物像

リーダーシップを発揮すると共に互いに尊重し「協力」して仕事ができる人

私たちの仕事は、決して一人で完結できるものではありません。建設業の最前線である「現場」では、社員のみならず協力業者など、たくさんの関係者と苦労や喜びを共にしながら完成を目指しています。多くの人たちとコミュニケーションを取り、お互いに理解、協力しながら同じ目標に向かって仕事ができる人材を求めています。